# 壬生町政だより

36年 4月号

No. 28
毎月24日発行
発行所 栃木県壬生町役場
印刷所 株式会社 新生社


## 諸統計より

1960年世界農林業センサスより

| | | |
|---|---|---|
| 農家数 | 2,729戸 | (内兼業1,173戸) |
| 農家の世帯員数 | 17,199人 | (内男 8,414人) |
| 農業従事者 | 8,654人 | (内男 4,191人) |

(参考)

| | |
|---|---|
| 本町の総就業人口 | 12,257人 |
| 総戸数 | 4,412戸 |

# さらに二工場の誘致きまる

## 株式会社 中箸ロール重機製造所
## 株式会社 日本理化工業所

小田垣町長

壬生町ではさきに日魯漁業株式会社やスポーデンシューズ株式会社の誘致をみましたが、今度各種ロールや圧延機の製造会社中箸ロール重機製造所、並びに各種電気絶縁体製造の株式会社日本理化工業所の誘致が本決まりとなり、三月の定例町会において小田垣町長から報告されました。

工場敷地は図面のとおり、いずれも宇都宮街道沿で壬生町大字東原地内の山林です。中箸ロールは一万九六坪、日本理化は九千四百坪で工場新設は両工場とも二年位で完成する模様です。

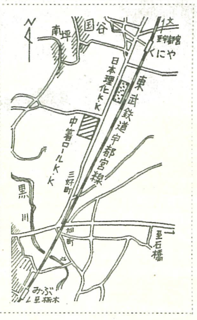
▽株式会社中箸ロール重機製造所(本社 東京都墨田区江東橋二ノ四、取締役社長中箸賢三郎)

この会社の創業は明治十七年で爾来一貫して鋳造業を手がけてきた製造会社です。現在製造品目は中小型各種ロール及び各種圧延機、輪転鋳鉄(Nメタル)諸機械鋳物、諸機械用歯車等です。わが国の工業界が貿易の自由化に対処して設備近代化を強力に押し進めており、当会社は機械受注産業として嘱目されています。

工場は東京都江戸川製造所ほか二工場と研究所を持ち、現在従業員は二五〇名を擁しており、すでに壬生町からも壬生工場の幹部従業員見習として八名が就職しております。主な取引先は日本鋼管、東都製鋼、東京螺子、東芝製鋼ほか製鋼関係や非鉄金属関係数十社に及んでおります。

▽株式会社日本理化工業所(本社 東京都品川区大井権現町三、七六〇番地、取締役社長大栗一男)

同社は大正三年に日本における電気絶縁体関係生産の草分けで、四十六年の社歴を持ち同生産会社としては最右翼に属する会社です。製造品目は雲母製品、シリコーン製品、合成樹脂製品(リカライト)硬質石綿板等です。東芝電気と技術提携をしており、従業員は二五〇名です。主な納入先は国鉄、東芝電気、明電舎、富士電機ほか各電気メーカー全国各私鉄関係。



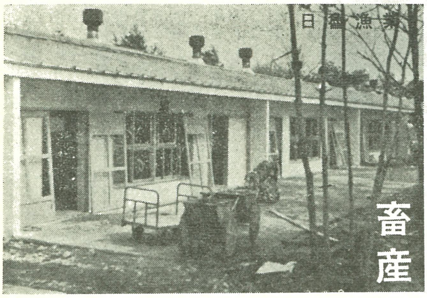

# 農林大臣から感謝状

## 農林業センサス・国勢調査

昨年は「統計の年」とまでいわれ十年に一回の「農林業センサス」また五年に一回の「国勢調査」が相ついで行なわれました。

この統計調査員に対して農林大臣、総理府統計局長からの感謝状が三月十八日午後一時中央公民館で、一八〇名の調査員に町長から伝達されました。

この席上町長から調査員の労をねぎらう言葉と、諸行政施策立案の基礎資料となる統計調査は今後ますますその重要性を加えてくるが、正確な統計ができるかどうかは一にかかって調査員の双肩にかかっており、正確な統計を通じてより明るく、住みよい町造りに協力されたい旨の挨拶があって盛会裡に伝達式を終了しました。



建設急ぐ育雛舎

# 畜産センターの建設

## 一期工事たけなわ

本町が誘致した日魯漁業株式会社(社長小林小一郎)では経営の多角化の一環として、栃木県下に畜産センターの建設を急いでいましたが、とりあえず四月一日付で栃木畜産試験場を開設することになりました。

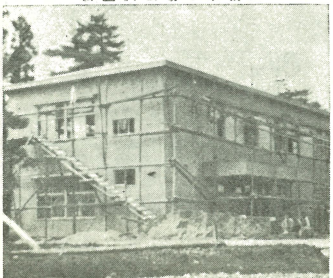
栃木畜産試験場
所在地 栃木県下都賀郡壬生町藤井二六五一番地
栃木畜産試験場長 水沼秀哉
電話 栃木県壬生三二四番

日魯漁業では本年一月十六日に地鎮祭を行ない、東海興業KK(東京都丸の内)の手によって第一期工事が着手されました。

第一期工事の目標は養鶏関係の凡ゆる試験設備や施設と事業所の形態を整えるための諸施設の完備を計る予定とのことです。即ち四月一日現在の設備投資額は約一億三千万円で、事務所(モルタル二階)一二二坪、守衛室七坪、電気室六坪、倉庫六〇坪、育雛舎(モルタル)一三七坪、中雛舎(木造)二四〇坪、研究所(ブロック)六〇坪、冷蔵室兼加工場一〇三坪、車庫二〇坪、社員住宅十棟一六四坪、独身寮兼食堂(二階)一六一坪です。

このほか七万坪の林の中に巾員七・五メートルの道路が縦横に伸びており、井戸、給水塔などが出来上っております。現在すでに米国より輸入した種卵から採卵鶏、肉用鶏の種雛が孵化しつつあります。本年十一月頃までには養鶏関係の諸施設をととのえる予定とのことです。この試験段階を経て大きく飛躍することが期待されます。

畜産試験場の事務所

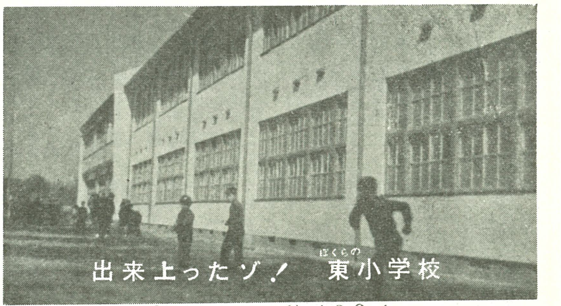


# 斎藤議長が受彰

## 全国町村議会議長会で

本町議会議長の斎藤米吉氏(59才)は、去る二月二日の全国町村議会議長定期総会の席上、自治功労者として表彰され四月五日表彰状と記念品が伝達されました。

氏は昭和十七年以来通算十八年にわたり議会議員として、地方自治の発展につくされた功績が今回の表彰となったものです。



出来上ったゾ！ ぼくらの東小学校

# 12教室・生徒400名

四月十日は待ちに待った壬生東小学校の新校舎の落成式と開校式が行なわれました。

地元住民の熱心など協力によって学校統合の実があがり、国庫補助金四二一万八千円、起債額五百万円を得て総工費一、三八五万円をかけて出来上ったものです。

総坪数四七七坪一六で普通教室十二教室、二七五坪。特別教室九〇坪、管理室五五坪、便所ほか五七坪一六です。

モルタル塗りの二階建で各教室とも明るく、落ち着いたふん囲気です。設計監督は甫坂富設計士、施工は佐藤工業株式会社でした。地元では二台の山車をくり出して新築を祝いました。

生徒数は十二学級の三九五名、先生は十四名で発足致します。

# 消防団長に 臼井氏

壬生町消防団では役員の任期満了により改選、次のとおり四月一日付で町長から任命されました。

消防団長 臼井武(中泉)
副団長 田村栄市(西高野)
〃 鈴木幸八(福和田)
〃 田中直市(国谷)

## 求人案内

▽日魯漁業系、あけぼのフレッシュパン製造真中工場(東京都世田谷区玉川用賀町二の六四一)

❶現場事務員五名(男女高校卒程度)❷従業員二十名(20才以下の男女中卒程度)宿舎、各保険あり詳細は役場総務課へ

▽中箸ロール重機製造所(東京都墨田区江東橋二の四)

❶従業員男五名(学歴不問)25才まで❷賄婦一名(中年者)宿舎各保険あり、詳細は役場総務課へ。

## お知らせ

### 晩霜警報ハナビ打揚げ

凍霜害を予防するため町では次の要領により花火を打ち上げてお知らせいたします。

期間は四月十日から五月中旬時刻は午後八時、打ち上げ場所は福和田橋附近、打ち上げ方法は五連発で二回。晩霜の対策には❶早期苗代には深水にする❷果樹類には重油や古タイヤを燃やすこと。一〇アール当り一五ヵ所が適当❸そ菜等は藁などで被覆すること。

### 電波で基礎勉強を ラジオ農業学校

農家の後継者で義務教育終了後なお勉強されたい方に対して、ラジオ農業学校を開設しております。ぜひお聴き下さい。

❶学習期間…修業年限は一ヵ年で四月にはじまり翌年三月に終ります。

❷学習方法

(イ)ラジオによる定期放送…NNK六時三十分から四十五分の十五分間。毎週月曜から金曜まで週五回。

テキストの内容は水田作、畑作園芸、畜産、生活改善等。

(ロ)現地集合研修…市町村単位に農業改良普及所の研修用器材を使用する。

(ハ)地方集合研修…県単位で行なう。

❸修了認定…知事から修了と認めたものには修了証書を交付する。

なおテキストは役場経済課でお取扱いいたします。(定価百八十円)

### 今月の納税

固定資産税 一期分
軽自動車税の納期は今月(四月)が七月に変更になりました。

---

▽…三寒四温とか晩霜予報があるとか、いつもながら春の気候には変化のはげしさが秘められていますが、それも五月になれば天気もすっかり落着き、おだやかになり五月晴れのよい気候となります。

▽…目に青葉 山ホトトギス 初かつお

ホトトギスはちょうど青葉の季節に南の方から日本の山林地方に飛んできます。又五月は木々の若芽の一番美しい時期です。…しかし人間界はのんびりもしていられないようです。

▽…上坪でこさ切り

とにかく明るくなりました。藤井上坪部落を通る方は誰方も共感がわくことでしょう。四月九日、十日の二日間を十六戸の農家が申し合わせて"こさ切り"を実施しました。五年目毎の部落の行事だそうです。

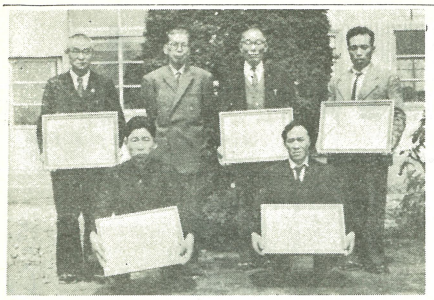
▽…実印の登録替え

こんど印かんの施行規則が改正になって、今まで登録されている方でも全部登録のやり直しをしなければなりません。実印は大切なものであることはよくご承知のことと思いますが、改正で注意を要する点は次のとおりです。

❶住民登録のしてない人はできない❷外国人で外国人登録のしてない方は登録ができない❸あなたの氏名、氏、名などが組合わされている印かんは登録できない❹職業などと組み合わせたものはできない❺ゴム印や三文印で変形しやすいものはできない❻印形の照合が困難と思われるもの❼死亡された方の印かんを子供さんが改めて登録するとき、死亡者を表示する印かんはできない…。

まことにやっかいな手続きですが、お互いの財産を守り権利を示すものだけに手続きだけはしっかりお願いいたします。

なお印かんの登録は本人でないとできませんからご注意を



↑ 優良納税組合の表彰

↑ 発育優良児を表彰

## 町の話題

町主催により4月6日優良納税組合の表彰式が中央公民館で行なわれました。

❶昭和35年度町税と国保税の納期内完納組合として214組合（代表助谷上坪納税組合長渡辺栄彦氏）また年度内完納組合として66組合（代表羽生田南部第一納税組合長赤羽根一男氏）が町から表彰されました。

❷このほか年度内完納部落として、下横町，城東町，馬場．館野，田向，原坪，台坪，原宿，西高野，今井，上長田，北原，助谷，雛沼，鹿島，釜ケ淵の16部落が受賞。

❸優良納税組合長として4名，明朗納税組合長高山重男氏，若美納税組合長小林豊作氏，本学谷納税組合長木須内明氏

❹優良元締代として馬場青柳誠次氏が受賞されました。

## 発育優良児を表彰

### 昭和35年度ベビー栃木

昭和35年度ベビー栃木コンクールで発育優良児として，加藤有美子ちゃん以下11名の赤ちゃんが，3月31日役場で町長から表彰されました。

また栃木保健所長や栃木市商社，森永乳業からも，それぞれ記念品が贈られました。

なお今年（昭和36年度）のベビー栃木コンクールの審査は過日第一次を行ない，近日中に本人に通知いたします。

## 交通安全を励行

新入学の準備にぜひ交通安全の教育を．四月八日は小中学校の始業式，十日には新入学児童たちの入学式です。親たちにとって一番頭の痛いのは町に溢れる自動車やオートバイ。

壬生町交通安全協会，小中学校，同PTA，婦人会，警察や町当局と一丸となって「交通安全の励行」を十日から二十八日まで実施いたしました。

## 子供づれでバスの旅

上稲葉婦人の会

上稲葉婦人の会は五年前に六十二名の会員で結成されて，ほかの老人会などと同じように映画会，料理講習会，健康から家庭や社会のことについての話し合等をなどしてきました。

四月七日は久しぶりに一日クリエーションとして稲葉一釜寺飛行場ー宇都宮百店街ー大谷バスセンターー壬生町の様と楽しいバス旅行をしました。ほとんどが子供連れで子供連れの愉快な一日でした。

## 国民年金手帳の取扱いにご注意

国民年金手帳は過日各戸にお届けしましたが，次のようなお取扱いに注意ください。

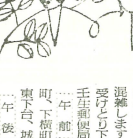
❶他町村に転出する方は転出先に手帳を必ず提出して下さい。

❷退職または年金等を受けられる人，あるいは厚生年金や共済組合に加入している年金手帳を受けた人は勤めずに，手帳を必ず提出していただきます。

❸国民年金加入者で前項の❷の該当者になったとき手帳を添え役場へ届出下さい

❹結婚その他により氏名を変更したときは手帳を添えて届出下さい。

❺年金手帳の記入事項に誤りがありましたら手帳を添えて申し出て下さい。



| | | |
|---|---|---|
| 一午前 | 安塚，助谷 | |
| 一午後 | 北小林，上田，中泉 | |
| 一午前 | 下横町，上稲葉，上稲葉 | |
| 一午後 | 七ツ石，羽生田，稲田 | |
| 一午前 | 南犬飼新開，五月六日 | |
| 一午後 | 国谷，助谷 | |
| 一午後 | 北小林，上田，中泉 | |

（註）印かんは証書に押してあるものと同じもの。

取扱い時間は午前九時から午後三時まで

| | | |
|---|---|---|
| 一午前 | 南犬飼新開，五月六日 | |
| 一午後 | 国谷，助谷 | |
| 一午後 | 北小林，上田，中泉 | |
| 一午前 | 下横町，上稲葉，上稲葉 | |
| 一午後 | 七ツ石，羽生田，稲田 | |
| 一午前 | 安塚，西高野，城内，城南，星の宮 | |
| 一午後 | 壬生釜瀧，釜宝 | |
| 一午前 | 安塚，助谷 | |
| 一午後 | 北小林，上田，中泉 | |
| 一午前 | 下横町，上稲葉，上稲葉 | |
| 一午後 | 七ツ石，羽生田，稲田 | |
| 一午前 | 南犬飼新開，五月六日 | |
| 一午後 | 国谷，助谷 | |
| 一午後 | 北小林，上田，中泉 | |
| 一午前 | 下横町，上稲葉，上稲葉 | |
| 一午後 | 七ツ石，羽生田，稲田 | |
| 一午前 | 安塚，西高野，城内，城南，星の宮 | |
| 一午後 | 壬生釜瀧，釜宝 | |
| 一午前 | 安塚，助谷 | |
| 一午後 | 北小林，上田，中泉 | |
| 一午前 | 下横町，上稲葉，上稲葉 | |
| 一午後 | 七ツ石，羽生田，稲田 | |

## 町内の先生異動

県内小，中学校の先生の異動が四月一日県教育委員会から発令され，本町関係では次の通りです。氏名の上が新任校，カッコ内が旧任校。

南犬飼小校長　鮎田　正作（都賀西中）
〃　教頭　阿久津繁男（那須東中）
南犬飼中校長　朱田　正作（都賀西中）
〃　教頭　前川昌男（次代小）
助工事　羽生田　淳（宇大）
補筋　〃　片柳　博（〃）
12山　〃　石坂　尊子（〃）
黒川原　〃　福田　光朗（〃）
河内　〃　藤島平三郎（〃）
上ノ子七ツ高　〃　飯塚　清（東小）
小倉川筋　〃　小林　豊（〃）
お茶水　〃　栗原　博（〃）
西山　〃　渡辺　清雄（大中）
上稲葉　〃　小林　豊（〃）
下稲葉　〃　小林　豊（〃）

## 壬生町管内の国・県の公共事業

### 道路工事が急増

国や県町村で行なう土木や建設事業を公共事業と申しますが，国や県の公共事業を壬生町管内でみますと，昨年昭和三十五年度に三，七七九万円が投資されました。

これは河川改修の堤防，道路工事，橋梁などの工事です。

また詳細は左記栃木土木事務所壬生派出所（所長中島邦吉）で尋ねてみました。

最近，大きな水害がないとはいっても河川関係で二，八九九万円（一昨年は四，四五九万円）の工事が行なわれました。区画整理関係の改良，舗装工事は著しく増加して，三，三五一万円（一昨年は四六万円）が投資されました。本県の道路は幾度も県と協べることその改良が顕著な事で定評があります。

中でも小山ー今市線，宇都宮ー栃木線，真岡ー壬生線のように栃木県内を結ぶ重要路線が壬生町管内を通過している関係上，国や県費による道路改良，舗装費の増額は大きく期待されております。

新年度に入り県道小山ー今市線舗装改良助成同盟会（会長小田原壬生町長）や真岡ー壬生線期成同盟会等の活躍と相待ってその成果が待たれます。

❶壬生町下横町から今井にかけて五五四万八千円で舗装が完了し，今井橋も併せて二七万円をかけて永久橋にかけ換えました。

❷宇都宮ー栃木線の分離地内の道路改良（路盤と舗装）に国庫補助五二〇万円をかけて，八八八万円を施工，なお同線国会地内では七五万円をかけて歩道を拡張する予定です。

❸国道補助工事
災害復旧（河川工事）
災害復旧の河川工事では羽田地内の護岸工事一，三八〇万円ほか五カ所，小倉川筋では茶水の護岸工事八，五九四万円ほか二カ所です。

一昨年の十カ所に比べる災害の少ない昨年度は八カ所でした。

| | | |
|---|---|---|
| 道路改良 | 安今 | 500万円 |
| 舗装新設 | 井 | 554万8千円 |
| 県単工事 | | |
| 舗装改修 | 町谷 | 40万円 |
| 道路改良 | 上国稲葉地区 | 75万円 |
| 〃 | 稲葉地区 | 95万円 |
| 〃 | 町表 | 75万円 |

| | | |
|---|---|---|
| 工事 | | |
| 号号調整幅 | 103万円 | 202万円 |
| 28 | 28万円 | |
| 136 | 136万円 | |
| 220 | 220万円 | |
| 170 | 170万円 | |
| 橋梁修繕関係 | 815万円 | |
| ❶橋梁修繕関係 | 610万円 | |
| ❷小倉川筋 | 205万円 | |

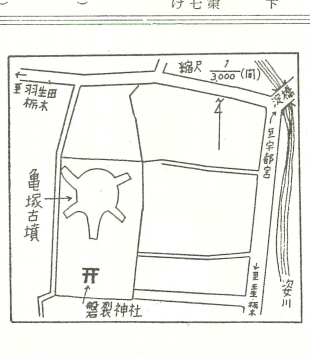
小さな工事が三ヵ所で黒川筋東橋が二万円，今井橋が一七万円，雷電橋が二五万円をかけて優築いたしました。

## 羽生田の長塚古墳

### 犬飼の亀塚古墳

資料　九

羽生田は通生田で，輪土師器などを造る材料の粘土をとる処の意味であることは，土師の部落などの項でふれたとおりであるが，その頃，土輪（はにわ）や土師器（はじのうつわ）を焼くことを仕事としていた人々は土師（はにしべ）の人々であって，土師部長は




にしべの公（おさ）がそれらの人々を率いていたのである。

土師器も，土師部落（はにしべ）というのが略されて「はじのうつわ」となったのである。

その土師部長をはじめ，土師部の人々は生田の附近にいたので，土師部のあったと思われる水の古墳あり，日用の土師器の破片や祖地，粘着土などが出土したのである。羽生田小学校の西北方にある長塚古墳なども，土師部の古墳であろうと推されるのである。

前号の写真を出したが，その拓本は温泉の部

（写真説明）（稲中校長）佐藤栄吉（南犬飼中校長）五井房次郎（北小校長）市川庫子（稲小）小林勝男（南犬飼中）大森美枝（壬生小）

前号に，拓生部落出土の土師器の拓本を出したが，その拓本は温泉の部

（写真説明）（稲中校長）佐藤栄吉（南犬飼中校長）五井房次郎（北小校長）市川庫子（稲小）小林勝男（南犬飼中）大森美枝（壬生小）

（なべこう）というのは新しい地名で，縄紋，弥生，開拓期のはいった部落であるから「拓人」とすべきであるとも思われる。

下段，図の右の方の「大きな胴輪の列石各」と「輪」の間に「段に立ち廻らされていて，その端」を入れる。

下段，墳後から行目の「その頃」を「その墳」とする。

元来，「生」は「ふ」と読むべき字，普使で「う」とはならないが，「とう」と読むならばある。浦生，豆生，麻生を「はにう」「まうう」「あそう」と読むのは，上の字の「ねうね」「さ」が普使で「う」に変ったものなのである。

下野の犬飼は土師器の北大御と下都賀郡の南大御とに分れていて，北大御は鹿沼市に合併され，南大御は壬生町に合併されている。然し元は一つの部落で，下野の犬飼部（いぬかいべ）の意味である。然し元は一つの部落で，下野の犬飼部（いぬかいべ）の意味である。

犬飼部というのは，官に属していて，鷹狩をする時に使う犬をかうことを職務としていた人々のことで，犬飼部長（いぬかいべのおさ）がそれらの人々を統べていたのである。

日本書紀では，安閑天皇の二年（西暦五三三）秋八月，国々に犬養部を置く」とあって，必ずしもその年のうちに全国に犬養部（いぬかいべ）が完成したとも考えられないのであるが，現在，犬養，犬飼と地名の残っている処が皆，官属にあって，そこの出身に犬養部の置かれたのである。

大体において，古墳時代には犬飼部というものがあり，犬飼部を葬ったという古墳もあった事と推定される。

壬生町の犬飼部長に指定された竜巌古墳なども，やはり犬飼部長の墓ら れた古墳ではあるまいか。

（高橋一男）